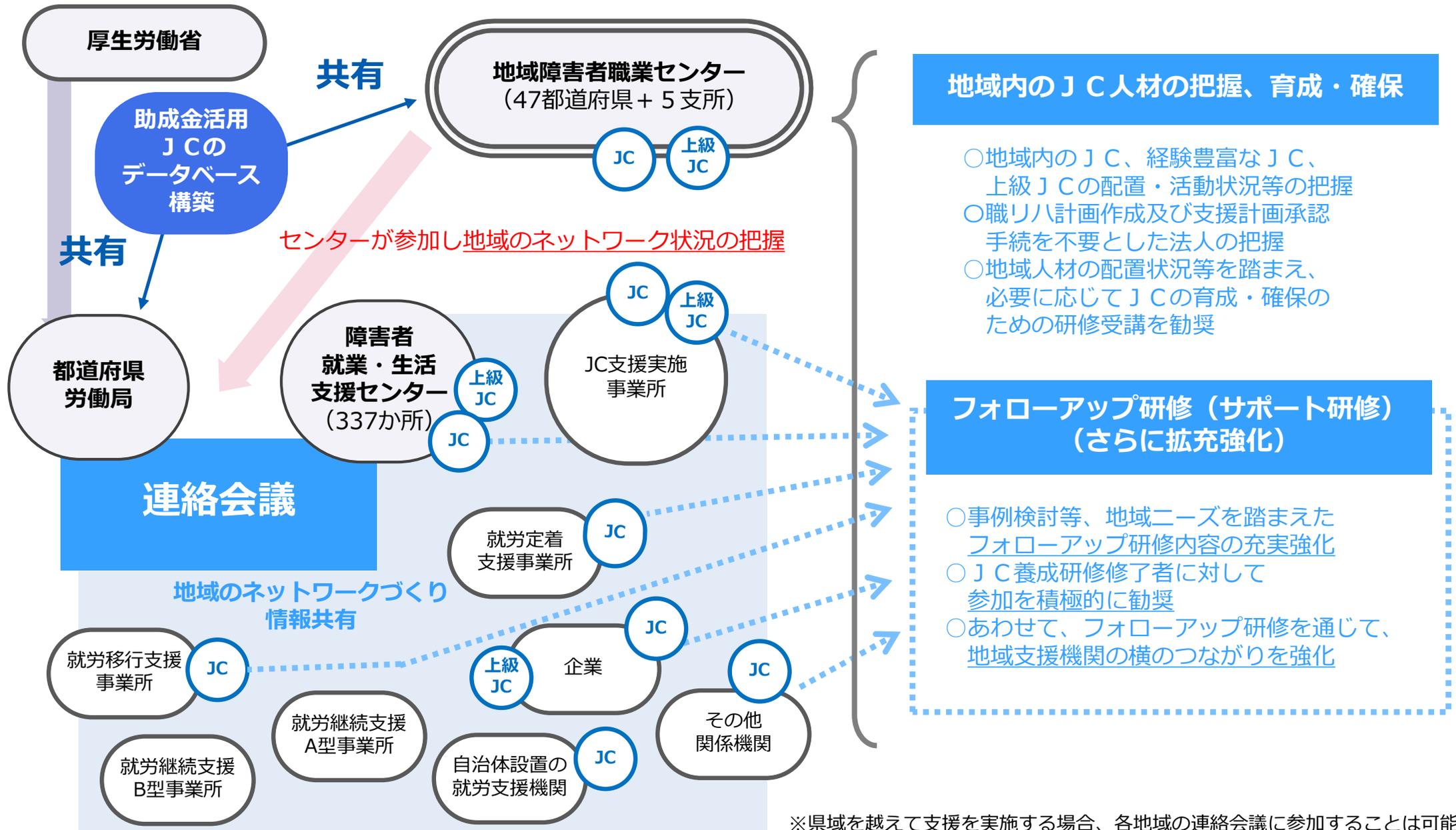


J C 支援活性化のためのネットワーク形成の今後の方向性（イメージ）



※県域を越えて支援を実施する場合、各地域の連絡会議に参加することは可能

J C 支援の活性化に向けた対応（地域における関係機関との連携）

〔関係機関との連携〕

○ 助成金活用JCのデータベース構築

厚生労働省において、JCの助成金活用による支援実績等の情報を収集し、助成金を活用しているJCの情報をオンラインで確認可能なデータベースを構築する（データベースの構築方針については別途検討）。

○ 連絡会議の活用

労働局及び障害者就業・生活支援センターは、連絡会議において地域の支援機関等とのネットワーク作りの推進及び地域における支援実態の共有をする。

地域障害者職業センターは、連絡会議に参加し、共有されたこれらの実態等を把握する。

○ 地域内のJC人材の把握、育成・確保

地域障害者職業センターは、データベースにより把握したJCの活動状況に加え、連絡会議への参加により地域の支援実態を把し、引き続き地域内のJC人材の計画的な育成・確保を行う（例：支援が手薄な地域における養成研修の受講勧奨等）。これにより、地域のJC支援の活性化に向けて引き続き中心的な役割を担う。

○ フォローアップ研修の拡充強化

地域障害者職業センターによるJC養成研修修了者へのフォローアップ研修（サポート研修）について、地域ニーズを踏まえて充実強化することにより、地域内の支援力向上及びJC間の横のつながりを強化する。